

第3回苫小牧市行政改革推進審議会 議事録

日 時	令和元年6月26日(水) 15:00 ~ 15:45
場 所	市役所2階入札室
出席委員	石森委員、大橋委員、川島委員、小林委員、小山委員、佐藤委員、菅原委員、滝本委員、中村委員、藤田委員、柳委員、山上委員 (敬称略、五十音順)
事務局	行政監理室
会議次第	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 会長挨拶3 議題 (1) 行政改革プラン-NEXT STAGE-平成30年度進捗状況に関する意見書(案)について4 その他5 閉会

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>定刻となりましたので、ただ今から、第3回苫小牧市行政改革推進審議会を開催いたします。</p> <p>それでは、審議会の開催にあたり、石森会長より御挨拶をお願いいたします。</p>
石森会長	<p>皆様、本日は、お忙しい中、審議会に出席いただき、感謝申し上げます。</p> <p>また、大変お忙しい中、行政改革プラン－NEXT STAGE－の進捗状況について、評価をいただき、重ねて感謝申し上げます。</p> <p>本日は、事務局から事前に送付があった「意見書（案）」について議論を行い、内容を固めていきたいと思っております。</p> <p>なお、意見書は、後日、市長に提出する予定となっております。委員の皆様には、本日も忌憚のない御意見をお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、これからの議事進行につきましては、石森会長にお願いしたいと思います。</p> <p>石森会長、よろしくお願いいたします。</p>
石森会長	<p>それでは、議題の「行政改革プラン－NEXT STAGE－平成30年度進捗状況に関する意見書（案）」について」に入りたいと思っております。</p> <p>前回の議論を受け、各委員には、それぞれ評価シートを提出いただきましたが、これを事務局で取りまとめ、「意見書」の案を作成していただいております。</p> <p>本日は、この「意見書」について御意見をいただき、内容を固めたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>まず、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>先般、委員の皆様には、行政改革プラン－NEXT STAGE－平成30年度の進捗状況に関する意見書（案）を事前に郵送させていただきました。</p> <p>説明に先立ちまして、この意見書（案）を取りまとめるにあたり、委員の皆様には、お忙しい中、評価シートを御提出いただき、また、貴重な御意見を多数賜りまして、誠にありがとうございました。</p> <p>今回いただいた御意見と、前回の審議会での議論をもとに、事務局におきまして、資料3－1のとおり意見書の案を作成いたしました。</p>

それでは、意見書（案）の概要につきまして、座って、説明させていただきたいと思います。

まず、全体の構成でございますが、表紙、目次とございまして、1ページには「はじめに」として、石森会長からの御挨拶を掲載しております。こちらのページにつきましては、事前に石森会長と調整させていただいております。

2ページは、「評価方法について」として、NEXT STAGEにおける評価の方法を掲載しております。

6ページから19ページにかけては、平成30年度進捗状況につきまして、テーマごとの評価、20ページには、「総評」として全体に対する御意見を掲載させていただきました。

22ページ以降につきましては、資料編といたしまして、前回、資料として配布させていただきました、各取組の「平成30年度進捗状況シート」を添付することとしております。

それでは、意見書（案）の内容につきまして、簡単に説明させていただきたいと思います。

あらためまして、2ページを御覧ください。

「評価方法について」ですが、一番上の表には、各年度の評価スケジュールについて掲載しております。今回は、「令和元年度」の部分で、平成30年度の進捗状況について評価を実施することとしております。

中段から次のページの上段にかけては、進捗状況などを評価する場合の評価基準について掲載しております。

3ページ・米印の1番目は、プランにおける「取組終了」の意味合いについて注釈を入れたものとなっております。

また、その下の米印2番目は、今回の意見書における評価対象につきまして、改訂後のプランの取組に対するものであることを注記しております。

続いて、6ページを御覧ください。

ここからは、「平成30年度進捗状況に関する評価」としまして、委員の皆様からいただいた御意見の内容を、7つのテーマごとに取りまとめたものとなっております。

それぞれのテーマごとに、2ページ分の見開きで作成しており、まずはじめに、評価する取組項目と担当課の自己評価をまとめた表、次に、枠で囲まれた部分になりますが、テーマ全体に対する御意見、そして、個別の取組項目に対する御意見という構成になっております。

テーマ1からテーマ7まで、全て同様の構成となっております。

なお、今回、委員の皆様からは非常に多くの御意見をいただきました。意見書では、その中でも、多くの御意見が寄せられた項目や、複数の委員から同様の意見があったものなどを中心に、まとめさせていただいております。

また、取組内容に対する御質問や、直接関係していないと思われる御意見などは、省略させていただいたものもございますので、御了承いただきたいと思っております。

それでは、テーマごとに、全体に対する御意見について説明させていただきます。

6ページのテーマ1「市民サービス向上策の積極展開」です。

「順調に進捗している」との評価が多く、「取組の推進に当たっては、民間活力を活用するなど市民ニーズに応えながらも費用を抑制する努力が行われている」、「人口減少、少子高齢化が同時進行する中、移住・定住促進による取組は必須であり、苫小牧の魅力を効果的に発信するとともに、定住のための環境整備と連携した取組に期待する」、「総合窓口の設置や、各種料金の支払い手段の多様化により、更なる利便性の向上を期待する」などの御意見がございました。

次に、8ページを御覧ください。

テーマ2「民間活力の積極的な活用」につきましては、「一部進捗状況に遅れが見られるが、概ね順調に進捗している」との評価となっております。

「民間委託可能なものは手を離し、行政が担うべき新しい課題に迅速に対応するサイクルを機能させることが、限られた人材と財源の中で社会の持続性を確保する方策である」、「民間活力は、あらゆる分野で検討すべきであり、これまで行ってきたノウハウを市で横断的に展開することが重要である」、「民間活力の活用にあたっては、地元企業の活用を念頭に置き、生活インフラにかかわる業務は、市民が安心できるよう慎重に検討を進めていただきたい」などの御意見がございました。

続いて、10ページを御覧ください。

テーマ3「公共施設の適正配置と効率的な活用」につきましては、「概ね順調に進捗している」との評価となっております。

「当市の地理的条件や、人口減少などの将来推計を踏まえ、縮小均衡を意識しつつサービス水準を維持していく工夫が必要である」、「重複的な投資や利用寿命の短い投資とならないように考慮する必要があ

る」、「ニーズに応じて適切に優先順位を定め、庁内で横断的な討議、チェックを働かせながら計画的に取組を進めていくべき」などの御意見がございました。

12ページを御覧ください。

テーマ4「事務事業の継続的な見直し」につきましては、「概ね順調に進捗している」との評価となっております。

「社会情勢の変化に対応した不断の取組が必須であり、今後も課題の発掘を継続することで、新たな見直しを実施いただきたい」、「災害時における情報発信及び管理体制の整備に当たっては、昨年度の災害を踏まえ、市民が安全安心を実感できるようスピード感を持って取り組んでいただきたい」などの御意見がございました。

14ページを御覧ください。

テーマ5「新たな財源創出と効率的な財政運営」につきましては、「7つのテーマの中で、最も取組が進んでおり、効果を実感できる」との評価をいただいております。

「資産売却とコスト削減により財政効果を上げてきたことは、当市にとって大きなアドバンテージである」、「税金を含めた歳入の安定化、社会環境に応じたコストの見直し、安全で暮らしやすい地域づくりのための公的投資の循環を常に意識する必要がある」、「移住・定住の促進、企業誘致による税収増など、将来を見据えた財源確保策に継続的に取り組んでいただきたい」、「新たな財源創出については、行政が調整役となり、広く市民や企業のアイデアを取り入れる仕組みも必要」などの御意見がございました。

16ページを御覧ください。

テーマ6「機能的な組織づくり」につきましては、「概ね順調に進捗している」との評価となっております。

「良質な行政機能と市政維持のためには、有能な人材確保と育成が必要不可欠である」、「広い視野で多様な思考に及ぶ若い職員の育成が重要である」、「業務の再編・再構築、新たな人材活用を進めるとともに、ICTなどのコンテンツを活用することで事務の効率化を図り、『機能的な』組織づくりを進めていただきたい」などの御意見がございました。

18ページを御覧ください。

テーマ7「協働によるまちづくり」につきましては、「順調に進捗している」との評価となっております。

「暮らしやすい地域社会を維持していくためには、行政と市民、企業、

	<p>団体が協力・連携の中で、まちづくりを進めて行かなければならない」、「市民の市政への関心を向上させることが課題である」、「『自助・共助・公助』の考え方による連携が大切である」、「行政がまちづくりのコーディネーターとなって、行政、市民、企業、団体が補完し合う社会を形成するよう各施策を進めていただきたい」などの御意見がございました。</p> <p>最後に、20ページを御覧ください。</p> <p>委員の皆様からは、プラン全体に対しましても、多数の御意見をいただきました。事務局で内容を精査させていただき、「総評」としてまとめております。</p> <p>主な内容といたしましては、「NEXT STAGEの取組は行政の役割の進化、高度化を的確に実現させており、財政効果額からみても評価できる」、「施策実現までの一連の業務プロセスが確立されてきており、各担当部署や職員一人ひとりに行政改革に取り組む意識が着実に根付いている」、「行政サービスの質を確保し安定的に提供していくためには、より効率的・効果的な行財政運営が求められる」、「将来の世代に負担を先送りすることのないよう安定した財政基盤を目指していかなければならない」、「苫小牧の理想の未来像を描く上では、『どのような特色で彩られるまち』とするのかを今一度考え、先取りで各施策を進めて行く必要がある」、「これまで以上に市民がまちづくりに参加する場を設け、行政と市民、企業、団体が互いに補完し合い、それぞれの力を最大限に活かすことで、理想のまちづくりが進められる」、「社会情勢が変化するなか、行政改革も時代の変化に合わせて、その意味合いや、目指すところを変貌させていく必要がある」、「計画期間の最終年度に向け、各取組の成功により、市民サービスの向上と行政費用の抑制という相反する課題が解決できるよう期待する」などの御意見をいただいております、このような形にまとめさせていただきました。</p> <p>以上が、簡単ではございますが、意見書（案）についての説明となります。</p> <p>本日の審議会では、この内容につきまして、修正すべき点や追加すべき御意見などについて議論いただき、内容を確定させてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p>
石森会長	<p>ただいま、事務局から説明がございましたけれども、御意見や御質問はございますか。</p> <p>私から一つ、C評価の取組が5つほどありますが、例えば、テーマ2の「市営住宅管理業務に係る民間委託等の実施」、それから「上下水</p>

	<p>道部営業課業務の民間委託の検討」は、いろいろとコンセンサスを得るのに時間を要し、遅れているのではないかと思います。</p> <p>もう一つ、テーマ3の「市有施設における通勤用自動車の駐車有料化」については、各施設に働いている方との協議などに時間を要しているため、C評価となっていると思います。</p> <p>大事なのは、テーマ4の「危機管理体制の整備強化」で、この取組もC評価となっていますが、他の取組のC評価と違って、胆振東部地震を踏まえてスピードアップし、早期に危機管理体制の強化を進めていかなければならないと思います。</p> <p>それから、テーマ6の「職員人材育成の推進」は、市役所内部に向けた取組のため遅れているのかと思います。</p> <p>C評価の中でも、特に危機管理体制の強化の取組については、重要性からすれば、この取組がC評価というのは課題、問題点ではないかと思えます。ほかのC評価の取組は、市役所内部向けの取組ですけども、少なくとも、この危機管理体制の強化は、市民生活や企業活動にも非常に影響が大きいところですので、できる限りB評価に近づけるような努力をすべきではないかと思えますが、いかがですか。</p>
事務局	<p>危機管理体制の強化につきましては、平成30年度の取組予定が、業務継続計画のホームページ等での公開となっていたところですが、胆振東部地震の影響などで、平成30年度中に実施できなかったためC評価となっています。</p>
石森会長	<p>すぐに進捗を取り戻せるC評価ということですか。</p>
事務局	<p>現在、そこをリカバリーすべく取り組んでいる状況です。</p>
石森会長	<p>そこは、丁寧にPRしたほうがいいのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>そうですね。ただ今いただいた御意見は、意見書(案)の13ページに、記載させていただいている意見につながるころではないかと思えます。C評価になった理由も記載しておりますが、早期の見直し、積極的な情報開示という意見があったということで意見書の中に追加で記載させていただきたいと思えます。</p>
石森会長	<p>よろしくお願ひしたいと思えます。 そのほかございますか。</p>
川島委員	<p>石森会長の御意見に関連して、C評価になった理由が分かっている方はいいと思うのですが、初めて見る方にとっては、胆振東部地震があったのに、まだC評価なのかという、ギャップが生じてしまうと思えます。要するに、C評価という部分が、ひとり歩きしてしまい、負のイメージが強くなってしまっているのではないかと、私も不安な気がしま</p>

	<p>す。例えば、特記事項を設けて限定的なB評価とするようなことはできないのかと思いますが、どうですかね。</p>
石森会長	<p>単純に予定が達成できなかったというだけではなく、実質は、危機管理体制の強化の取組は、進められていると思います。行政改革は、行政費用を抑制するということと、市民サービスの向上の両方を追い求めているわけですので、そういう意味では、この危機管理の強化というのは、川島委員がおっしゃったような特記事項など工夫すれば理解しやすいのではないかと思うのですよね。</p>
事務局	<p>あくまでも、ここは担当課の自己評価という形ですが、いただいた意見についても、意見書の中に入れるような形がよろしいでしょうか。</p>
石森会長	<p>はい。審議会では、「C評価ではないのではないか、担当課も積極的に実施した取組を情報開示してはどうか」という意見があったと。B評価に直してもいいかと思いますが。C評価の中でも、積極的に取組が進められているC評価であると思いますので。</p>
事務局	<p>昨年9月の胆振東部地震の際には、市職員が危機管理室を中心に避難所開設等を対応いたしました。やはり、様々な課題点が、新たに出てきました。今年9月に、市民の方々と交えて防災訓練を行うのですが、その防災訓練を行うにあたっては、昨年の震災で実際に対応した中での課題や教訓などを意識しながら、各部署で目標を定めて臨みたいと考えています。危機管理体制への取組は、これが100点というものはないと思います。常にレベルアップを図らなければならない。こういった思いもあって、担当課の評価も厳しめのC評価となっていると思います。</p>
石森会長	<p>それはよくわかります。取組が遅れていると誤解されないようコメントをうまく工夫してもらいたいと思います。</p> <p>そのほかございますか。どのようなことでも結構ですので。</p> <p>各担当部署も、これだけ取組を実施してきていますので、ある程度、コンセンサスが出来上がっているような気がします。</p> <p>説明があったように、財政効果額も33億円ほど出ていますので、これも一つの評価だと思います。</p> <p>人材育成や、駐車場の有料化などの取組もC評価となっていますがどうなのですか。</p>
事務局	<p>人材育成方針は、我々、総務部の担当でございまして、C評価というのは、本当にお恥ずかしい話であります。現在、試行段階ではありますが、人事評価制度を実施しております。その評価項目と人材育成方針の内容の合致、整合性の調整に時間を要してございまして、本来は、</p>

	<p>昨年度中に人材育成方針を策定しまして、それに基づいて人材育成を実施していく予定だったものが遅れている状況です。</p> <p>駐車場有料化の取組は、前回の審議会でも御意見をいただきましたけれども、担当課では、今年度中の実施に向け、取組を進めております。</p>
石森会長	<p>今年度の評価対象ではないかもしれませんが、受動喫煙防止に対する件は、大分徹底されているのでしょうか。庁内でも、歌がかかっていた。</p>
事務局	<p>あれは日本循環器学会が作成したテーマソングだそうです。</p> <p>子供が歌うバージョンと、大人が歌うバージョンがありまして、月に何回か市役所内でBGMがかかるようになっていきます。受動喫煙防止対策としましては、本庁舎の東側にある市民向けの喫煙所を今月いっぱい撤去し、使用できなくします。また、職員会館にある職員向けの喫煙室は、法律上、今年度内は、今の状況で使えますが、職員も段階的に禁煙に向かってもらおうという意味合いも込めて、7月以降は、基本的には勤務時間内禁煙ということで、8時45分から11時半と、午後1時半から午後5時15分までの間は禁煙とし、使用できなくします。ただ、それも今年度内で終了になりまして、来年度4月からは、職員会館にある喫煙所も廃止ということで考えております。</p>
石森会長	<p>それは意志が固いですね。</p>
事務局	<p>これは世の中の流れでございますので、そういった方向で、考えております。</p>
石森会長	<p>そうですか。確かに音楽がかかったら吸いづらいですよ。</p> <p>いいアイデアだと思いました。</p>
滝本副会長	<p>喫煙所を廃止していくという話ですが、市役所と同様に、市民活動センターなども、禁煙施設となるみたいですね。全市的に公共施設は全て禁煙施設となるのですか。</p>
事務局	<p>そうですね。市役所庁舎が法律上、第1種となりますので、7月以降は、敷地内は禁煙となります。ほかの公共施設は第2種という位置づけになりまして、今年度内までは今の状況でいいのですが、来年度4月以降は、煙が屋外に排気されているなどの要件を満たした喫煙専用室でない限り、たばこを吸うことができなくなりますので、基本的には禁煙の方向に向かわざるを得ないと考えています。</p>
石森会長	<p>そのほかございますか。</p>
山上委員	<p>先ほど職員の人材育成、人事評価の関係で、現在いろいろ検討されているとお話を聞きました。</p>

	<p>昨年の胆振東部地震の際には、いろいろな業務をやられている方が同じ方向を向いて一丸となって業務に携わっていたと思います。人事評価を行う際には、今、担当している部署でのスキルももちろん大切ですが、市職員として基本的な能力についても評価できればいいと思います。</p> <p>そうすることで、ある程度の年数をかけて、いろいろな仕事をマスターしていきながら、彩のあるまちづくりに必要なものに気が付けば、すばらしいと思います。</p> <p>これから検討されると思いますが、検討の中に入れていただければと思います。</p>
事務局	意見書の17ページに、今の御意見をまとめた形で入れたいと思います。
石森会長	そのほかございますか。
藤田委員	<p>意見書としては、大変よくできていると思っておりますので、特にはないのですが、14ページのテーマ5「新たな財源創出と効率的な財政運営」に設定されている部分が、歳出削減の取組が中心になっています。もちろんネーミングライツ導入などの歳入拡大の取組もありますけれども、15ページの意見に「歳入規模に見合った歳出構造の転換」と書いてあり、これが基本になっていると思いますが、やはり歳入規模の拡大自体のことについても、細かいものの積み上げで、色々な形で図っていかねばいけないと思っています。IR等の話題で、税収拡大の可能性というのは、少なからずあるわけですが、それ以外にも、色々な形で歳入規模を拡大させるための施策を具体的にこのテーマの中に入れていくというのは、今後の課題だと思っています。もちろん意見書の文面のいろいろなところにも記載していただいていますけれども、御考慮いただきたいと思います。</p> <p>市議会の記録を調べましたら、議論されている話題のほとんどが歳出に関するものであって、歳入に関わる話題がほとんどないのですよね。歳入は減っていくという見方しかされていないのかなと思います。これは市議会の問題でもあると思いますが、歳入拡大に対する対策を十分に練っていかねばならないと思います。草の根のところ、こつこつ積み上げて、具体的な施策を数多くつくっていくことを心がけていただければと思っていますので、よろしく願いいたします。</p>
石森会長	<p>苫小牧市も企業立地から、いわゆるサービス業というか観光にシフトしつつあります。今、知事も色々なところで観光税の議論をしています。苫小牧市も関係がないわけではないですから、検討することも</p>

	必要な気がします。
事務局	<p>現行の行革プランの取組が、最終年度を迎えている中で、新たな行革プランを来年度に向けてつくる作業をしております。新たなプランをつくるにあたって、この審議会からの意見をいただこうと考えております。</p> <p>今回の審議会を経て、7月に会長から市長に意見書を渡していただきますが、それに合わせ同日に新たな行革プランを、どういう方向性でつくったらいいかというのを市長から、審議会に諮問させていただきます。諮問に対する答申書の意見の中に、今の藤田委員の意見も入れたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
石森会長	<p>人口と税収との関係をどう捉えるか、移住の取組が進めば、支出の部分での負担はあると思いますけど。確かに、歳入が減ってどうするかということだけではなく、ネーミングライツ導入などの歳入を維持していく方策を考える時期に来ているかもしれません。次期計画策定に向けた審議会のときに議論させていただきたいと思います。</p>
川島委員	<p>今のところで、確認させてください。</p> <p>現行の行革の取組の中では、いかにコストを抑えるかということが中心になっていますが、それだけでは尻すぼみになってしまう。次期計画では、将来の税収を生み出す芽を育てていく、または苗を植えていくような形で、場合によっては、積極的な投資も含めた取組を、この中で提案して、膨らませていくという理解でよろしいですか。</p>
事務局	<p>現行のNEXT STAGEをつくる際にも、本審議会の意見を賜りまして、その中で、いままでは歳出抑制を中心とした行政改革でしたけれども、市民サービスの向上の観点も入れるべきという意見をいただきまして、NEXT STAGEからは、「市民サービスの向上」と「行政費用の抑制」というテーマを掲げております。</p> <p>また、次期プランをつくるにあたっては、今の歳入の拡大ということも、答申書の意見に入れさせていただき、それに沿ったプランになるよう進めたいと思っております。</p>
滝本副会長	<p>テーマ1の「市民サービスの向上策の積極展開」の取組の中に、公共交通の利便性向上の取組があるのですが、高齢者が増えることによって、一般的な路線バスだけではなく、コミュニティバスの設計をしていただきたいと思います。</p> <p>私も、コミュニティバスが好きで、たまに東京に行ったときに利用します。小さいマイクロバスで、100円ほどで、移動できます。東西に長い苫小牧では、地域ごとに幾つか設定することによって、お年</p>

	寄りの方の利便性も高まりますし、経費も大型のバスを運行するよりは抑えられる可能性もありますので、ぜひ、そういうものを設計していただきたいと、強く思っています。
事務局	今の御意見も、次期プランの答申に入れさせていただきたいと思えます。
石森会長	そのほかございますか。
中村委員	先ほどの藤田委員の御意見に関連してですが、テーマ5「ふるさと納税の推進と実施方法の見直し」の、今後の取組予定の中にガバメントクラウドファンディングが記載されています。これも広い意味での、歳入拡大の取組だという捉え方をしてよろしいでしょうか。
事務局	ふるさと納税の取組の項目の中に書かせていただいている内容になりますけれども、これも広い意味では新たな財源の創出となります。新たな行革プランでは、ふるさと納税に限らず、この手法を導入していくことも考えられるかと思えます。
中村委員	萌運輸さんが、カンボジアでカシューナッツ農園を開始するための資金をクラウドファンディングで調達したことが民報に載っていましたね。
石森会長	そのほかございますか。 なければ、ただ今、御指摘のあった点について、事務局で修正をお願いします。 私からですが、最終的な意見書の調整につきましては、本日の議論を踏まえ、私と事務局に一任させていただきたいと思えますが、いかがでしょうか。
各委員	異議なし
石森会長	それでは、私と事務局に最終的な調整は任せていただくということで、お願いしたいと思えます。 では、事務局からお願いします。
事務局	それでは、本日の審議会にて御意見があった点につきましては、意見書に反映させていただきたいと思えます。 確定した意見書につきましては、7月5日に、石森会長から市長に提出いただき、庁内に展開していきたいと考えております。議会に対しましては、9月議会までに資料として配布する予定としております。 意見書の最終的な調整につきましては、先ほど会長からお話がありましたとおり、会長に一任ということで進めさせていただきます。 なお、確定した意見書につきましては、委員の皆様にも、後日、郵送させていただきたいと思えますので、よろしくお願ひいたします。

石森会長	<p>それでは、最後に、全体を通して何かございますか。 なければ、事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>次回の審議会は、7月中旬での開催を予定しております。7月5日の意見書提出にあわせて、令和2年度からの新たな行政改革プラン策定に向けて、審議会に御意見をいただくため諮問をさせていただきます。次回の審議会では、新たな行政改革プラン策定に対する御意見をいただく前に、いままでの行政改革の取組と、以前に御依頼のありました本市の財政状況に関する詳しい説明をさせていただきたいと思っております。</p> <p>なお、日程等の詳細につきましては、近日中に、御案内させていただきますので、よろしく願いいたします。</p>
石森会長	<p>それでは、本日の審議会を終了いたします。ありがとうございました。</p>